

A nighttime cityscape with a digital network overlay of blue lines and nodes. The city lights are visible in the background, and the network lines are superimposed over the scene, creating a sense of connectivity and data flow.

VERITAS™

DX時代の多様化する SaaSデータ／電子コミュニケーションへの コンプライアンス対応

(Veritas Alta Archiving／eDiscovery ご紹介)

ベリタステクノロジーズ合同会社
2024.3

Veritas Alta リリースに伴う既存サービスの名称変更について

変更前

Enterprise Vault
Administration Console



Enterprise Vault.cloud



Enterprise Vault Personal.cloud



Enterprise Vault Discovery.cloud



Veritas Advanced Supervision



変更後



Veritas Alta™ View for Compliance & Governance
(Alta Archiving管理用WEBコンソール)



Veritas Alta™ Archiving



Veritas Alta™ Archiving, Personal Archive
(パーソナルアーカイブ操作用WEBコンソール)

**個々の従業員向けの
Eメールアーカイブ**



Veritas Alta™ eDiscovery
(eディスカバリ操作用WEBコンソール)

**監査/eディスカバリ向けの
Eメールアーカイブ**



Veritas Alta™ Surveillance

コミュニケーションのプロアクティブな監視

Agenda

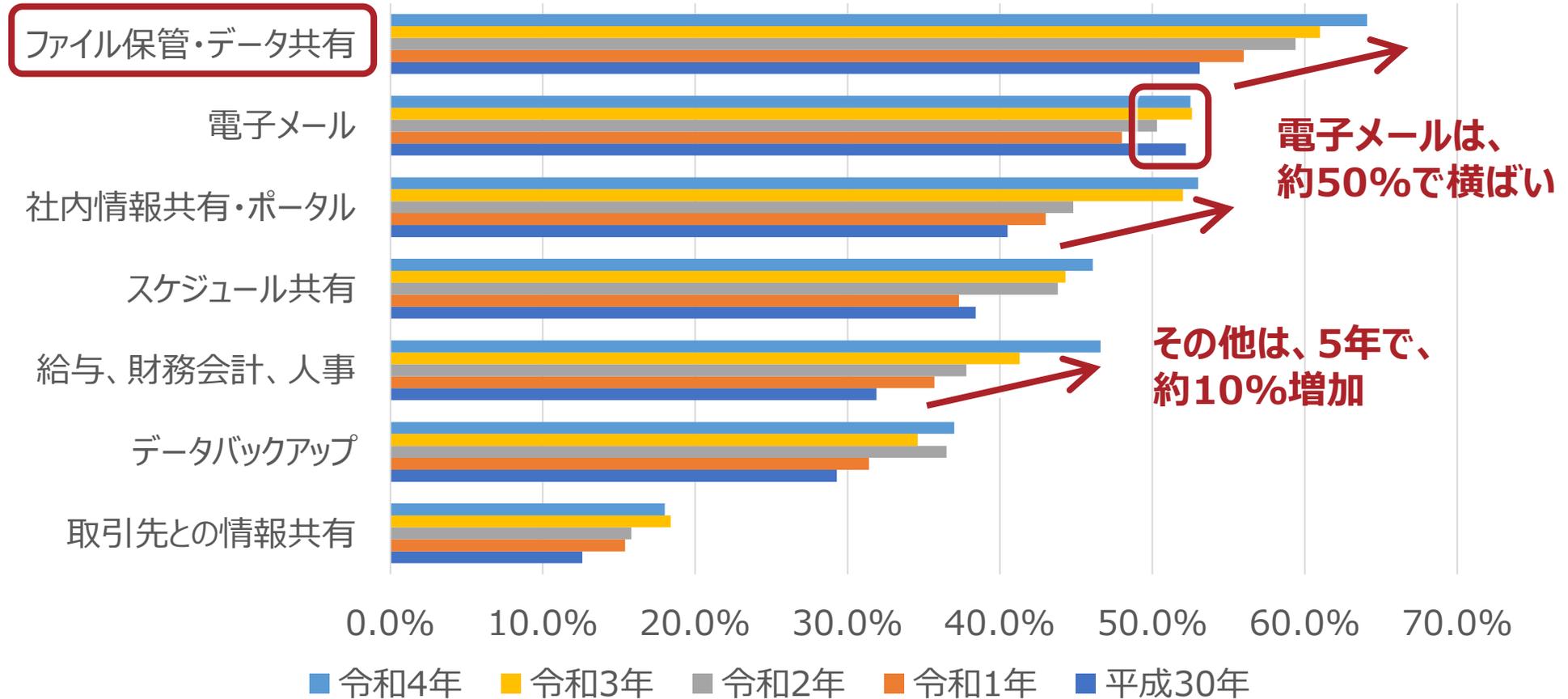
- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

- **法規制対応／電子情報開示の準備の重要性**
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

SaaSアプリケーションの利用が進んでいます

ファイル保管・データ共有の
利用率が高い

クラウドサービスの利用率の増加（総務省）



電子コミュニケーション・ツールの多様化



コミュニケーションは、**コラボレーションツール、メッセージング、オンラインストレージ**などに拡大しています
データ保持、データプライバシー、コミュニケーションの監視などに関する **新たな規制が急速に生まれています**

25%

従業員の 25% が、**1日の半分以上**を電子メールだけでなく、
これらの**コラボレーションツールやメッセージングツール**に費やしています

71%

従業員の 71% が**これらのツールを使って機密データ、個人情報、
企業の機密情報を共有**しているといえます

企業は規制対応、コンプライアンス対応のため、
電子コミュニケーションの**管理・調査の仕組みが必須**

出典：「The Hidden Threats of Business Collaboration」2021年3月ベリタス実施

ついに日本企業にGDPR違反

ついに日本企業にGDPR違反、個人情報漏洩が制裁の理由ではない

12/19(月) 9:30 配信 4 返信 1 共有

Forbes JAPAN



Getty Images

日本企業初の制裁金か——。2022年11月初旬、欧州連合（EU）のGDPR（一般データ保護規則）に違反したとして、通信事業者であるNTTデータの海外子会社に6万4000ユーロ（約900万円）の制裁金が課せられたとの報道があった。単なる偶然ではあるが、筆者は今年中に日本企業の海外子会社や関連会社がデータプライバシー法規制の制裁対象となると予測していたため、驚きというよりは「ついにきたか」というのが率直な反応だった。今後、同様に日本企業が制裁対象になる案件が次々に出てくる可能

- ✓ 2021年のGDPRによる制裁件数は**400件以上**
- ✓ 1件あたりの平均制裁額は**約4億円**（約286万ユーロ）
- ✓ **日本企業にGDPR違反**
- ✓ **制裁理由**に対する誤解「個人情報の漏洩」に対してではなく「**個人情報の取り扱い方**」に対するの措置

制裁金リスクを低減するため、企業が保有している情報の把握、個人情報の適切な取り扱い、その「仕組み化」が必要

法規制対応というと、
他人事のように聞こえるかもしれませんが、
そんなことはありません！！



DES



証拠保全、コミュニケーションの調査、証拠開示手続きの準備はできていますか？

米国民事訴訟（証拠開示手続き）

- ✓ 日本企業をターゲットとした**クラスアクション**（消費者集団訴訟）
- ✓ **国際カルテル**（価格／生産量の協定）や、**海外腐敗行為防止法**（ワイロ禁止／会計の透明性）の違反疑い
- ✓ **パテント・トロール**
（訴訟を起こす目的だけに特許を買い集める団体）の特許侵害訴訟
- ✓ **製造物責任法**（損害賠償責任）で訴訟
- ✓ **役員／従業員の引き抜き** …など

内部調査

- ✓ **不正取引**の有無の確認
- ✓ **ハラスメント調査**
- ✓ **内部監査** …など

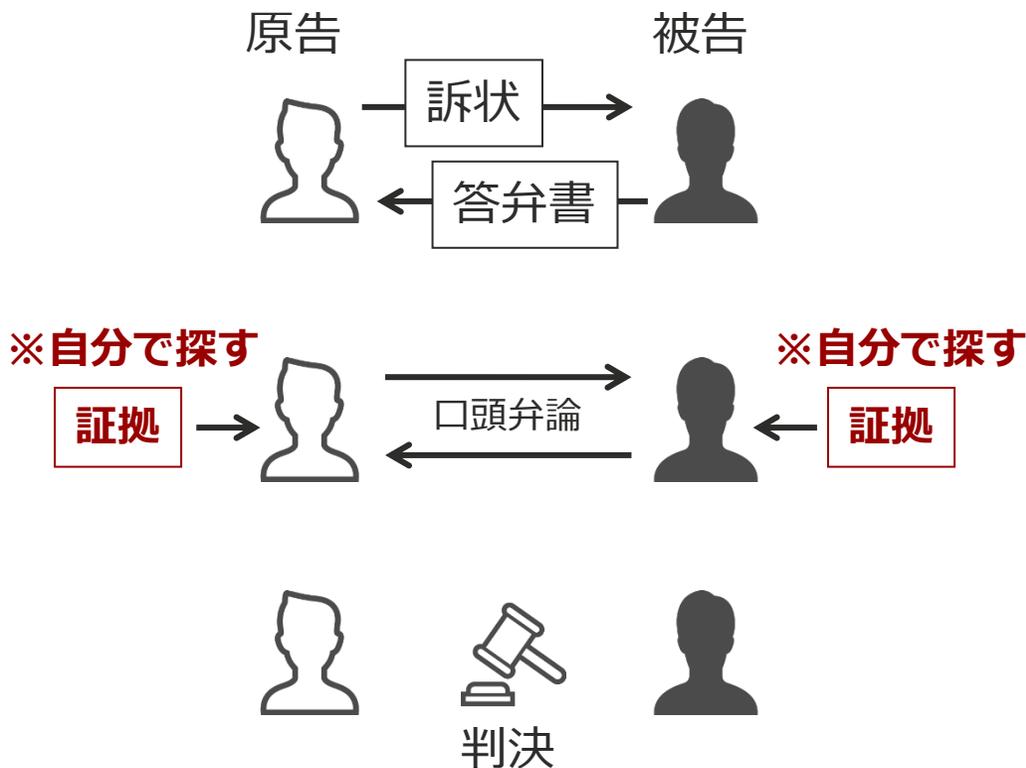
これらは、普通の国内企業が
証拠保全、コミュニケーションの調査、証拠開示手続きが必要になる事案

- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- **米国民事訴訟における eディスカバリ の位置づけ**
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

【参考】国内民事訴訟の流れ

国内民事訴訟の流れ

- 訴えの提起
 - ✓ 訴状提出／答弁書提出
 - ✓ 事実／証拠の収集
- 口頭弁論期日
 - ✓ 証人尋問など証拠調べ
 - ✓ 主張の補充／整理
- 判決
 - ✓ 判決原本作成
 - ✓ 判決言い渡し



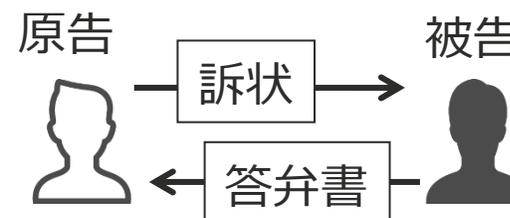
事実や証拠を集めるのは、当事者が自分の責任で行う
裁判所は当事者の主張を聞いて、中立的な立場で判断

- … 弁論主義
- … 当事者主義

米国民事訴訟の流れ

米国民事訴訟の流れ

- 訴えの提起
 - ✓ 訴状提出／答弁書提出
- プリトリアル
 - ✓ **ディスカバリ（証拠開示手続）**
 - ✓ 各種申し立て
 - ✓ 簡易判決など
- トライアル（公判）
 - ✓ 陪審選定
 - ✓ 証人尋問
- 判決
 - ✓ 陪審評議と評決
 - ✓ 判決言い渡し



**証拠を要求し、相手に出させる
証拠は、「自ら集めるもの」ではなく、
「相手が開示するもの」という認識**



**プリトリアルで90%以上が和解。自社に優位な
和解に持ち込むことが訴訟マネジメントで重要**

ディスカバリ（証拠開示手続）とは

■ディスカバリとは

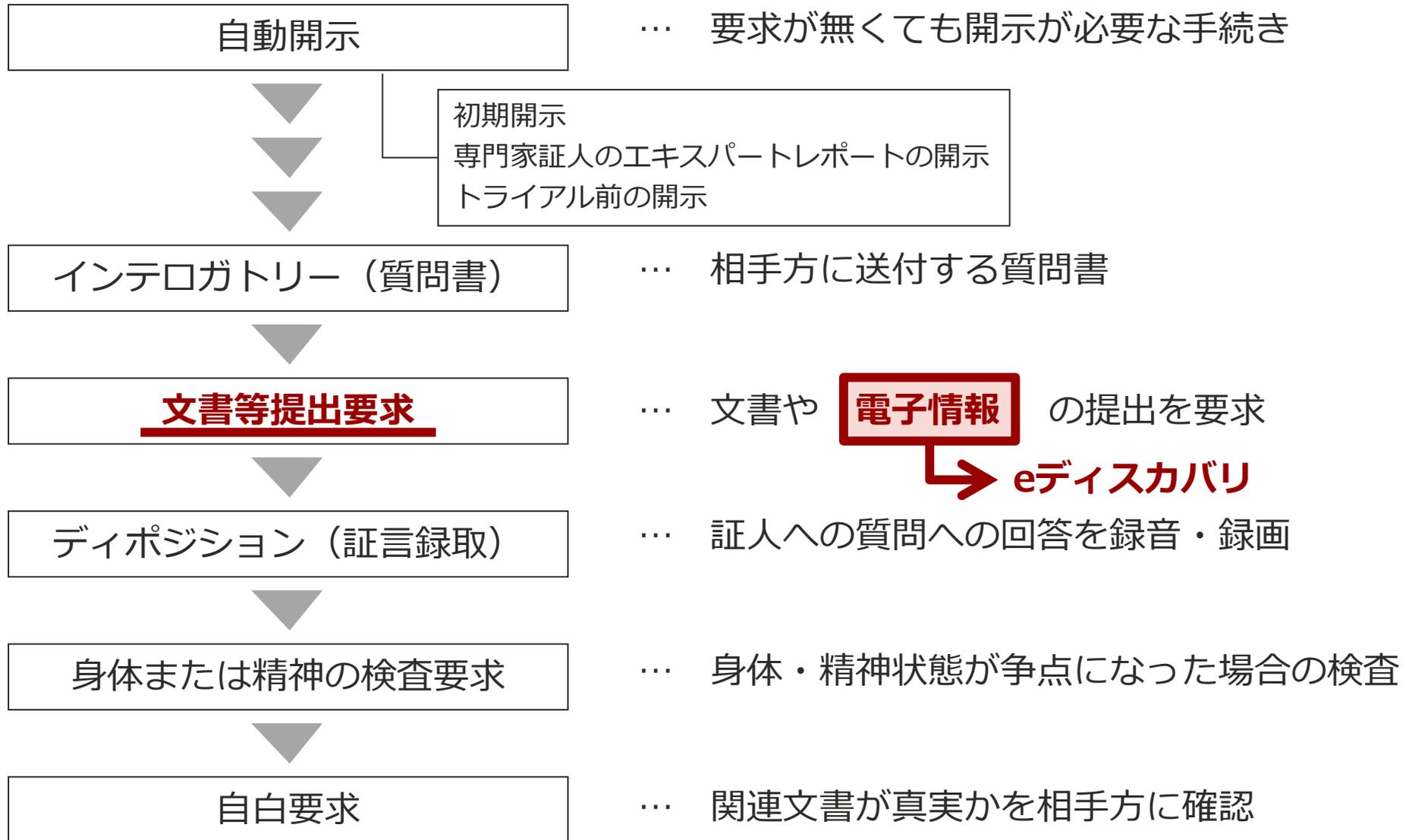
公判（トライアル）前に争点に関する情報を、**相手方の要求に基づき情報開示**する手続き。

「Discovery：発見」の意味のとおり、証拠を「**出させる・見つけに行く**」の意味合いが強い。
ディスカバリを要求する側のイニシアチブが強い。
ディスカバリにより、手の内が分かり、和解になりやすい。（90%以上）

米国民事訴訟手続きの中で、最も時間とコストを要する。



ディスカバリの流れ



文書等提出要求 / eディスカバリとは

■ 文書等提出要求

争点に関連した情報が書かれている可能性のある

文書／電子情報の提出を相手に求めること。**期日以内に提出**する必要がある。

■ eディスカバリ

- **費用は提出側**が原則が持つ、5千万～3億円になることも
- 開示対象
 - ✓ **コミュニケーションに関する情報**
 - ✓ ログ、資料の修正履歴
 - ✓ 秘匿特権※1、ワークプロダクト※2が適用できれば開示不要

※1 「依頼者と弁護士の間で法的助言を得るためになされた、秘密のコミュニケーション」であれば、相手方に開示しなくて良い

※2 「訴訟準備のために作成された文書等」は、相手方に対する開示の対象から除外される



メール



ドキュメント
(ファイルサーバ)



社内ポータル

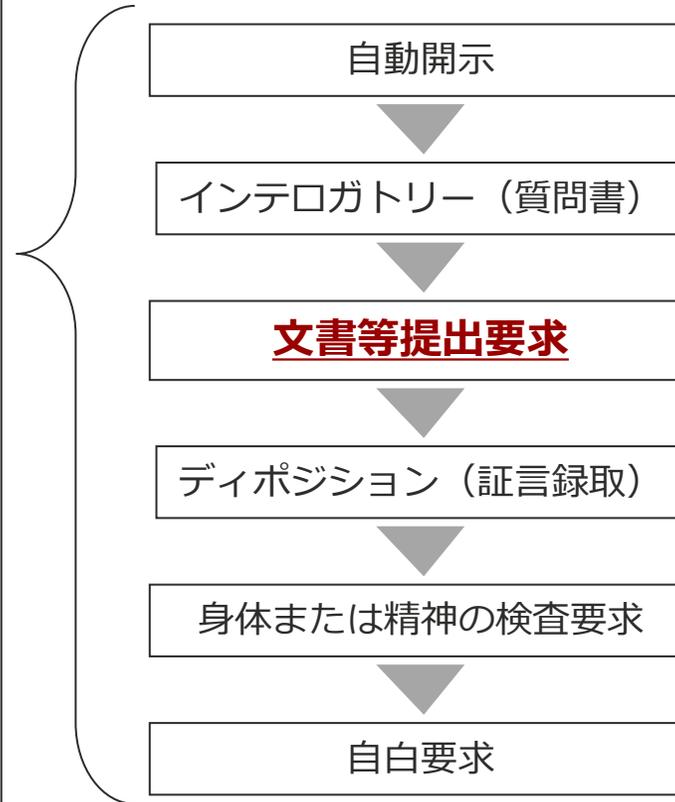


テキストメッセージ

eディスカバリの位置づけ

米国訴訟の流れ

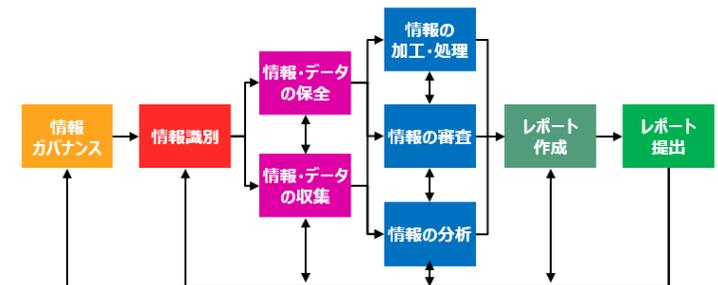
- 訴えの提起
 - ✓ 訴状提出／答弁書提出
- プリトリアル
 - ✓ **ディスカバリ (証拠開示手続)**
 - ✓ 各種申し立て
 - ✓ 簡易判決など
- トライアル
 - ✓ 陪審選定
 - ✓ 証人尋問
- 判決
 - ✓ 陪審評議と評決
 - ✓ 判決言い渡し



• 文書
• **電子情報**

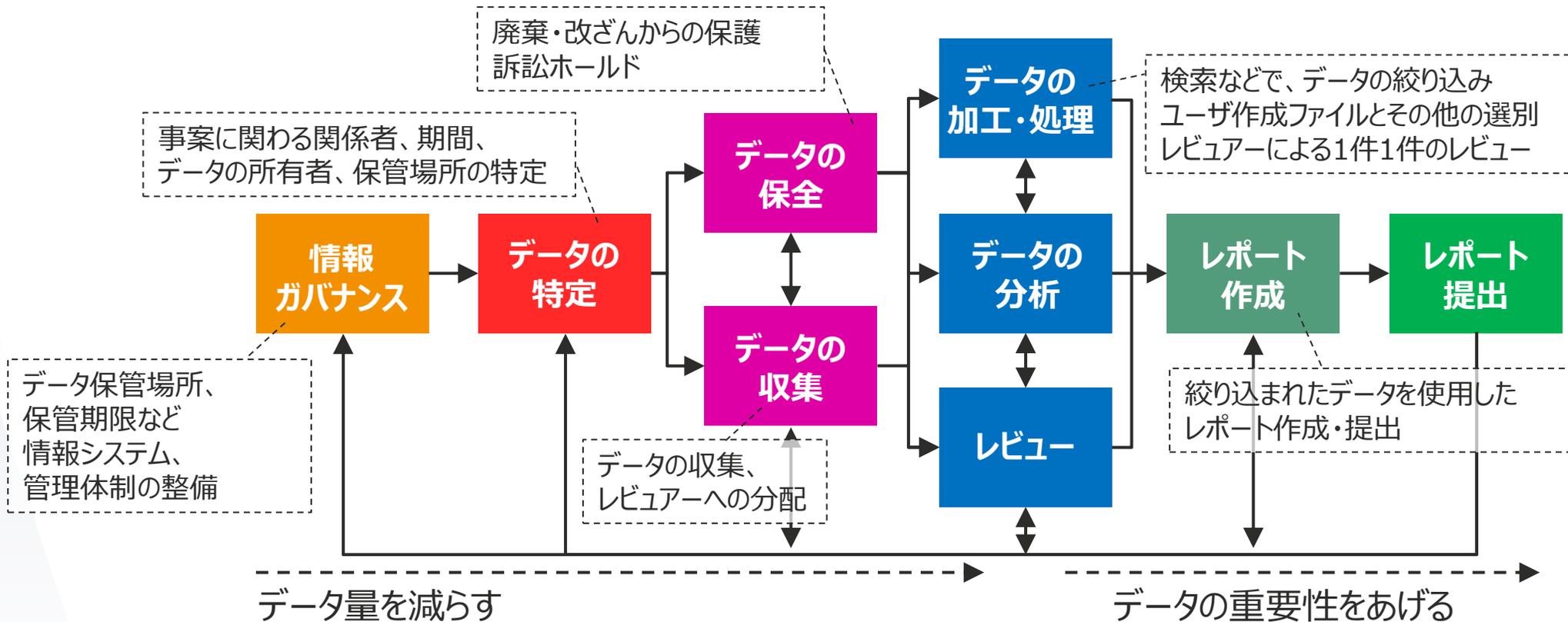
↑
ここが

eディスカバリ



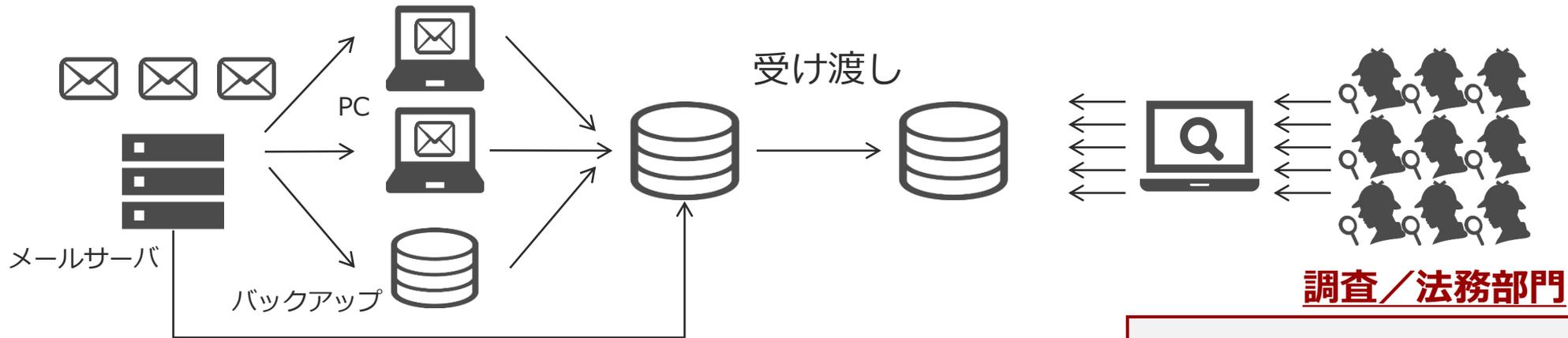
EDRM (eDiscovery Reference Model)

EDRM (eDiscovery Reference Model) は、世界標準の**eディスカバリのワークフロー**です。
コンプライアンス社内調査にも活用されています。



- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- **eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント**
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

EDRMを手動とポイントソリューションで実施すると…



IT部門&専門業者

- ✓ 個々のPCやサーバからデータを手動収集
- ✓ 改ざんを疑われる可能性
- ✓ 見てはいけないデータを見てしまうリスク

調査/法務部門

- ✓ 検索精度や検索速度に不満
- ✓ 検索条件や進捗状況を共有しづらい
- ✓ 受け渡されたデータが足りず再度依頼



経営部門

- ✓ 長期間/コスト大
- ✓ 機密情報の漏えいリスク
- ✓ 賠償金/不利な和解のリスク
- ✓ 企業価値低下/信用失墜のリスク

国際訴訟の費用が不透明な理由

国際訴訟は、**企業のトップシークレット**のため、訴訟の経験&費用は、公にならない

ディスカバリが求められるシーン



訴訟を
起こされている



訴訟を
起こしている



米国当局からの
調査／捜査を
受けている



カルテルの
リエンシー※制度
(減額、免除)



M&Aや
倒産時の
資産査定

ディスカバリ費用を下げるためには（レビュー前工程）

適切なツールを使用し、確実 & 迅速に行うことで、その結果、リスク & コスト削減を実現



	手動でおこなう場合	適切なツールがある場合
訴訟ホールド	通常業務と保全業務が重なり、通常業務に支障をきたす、または、保全業務が滞る。故意に、または、誤ってデータを削除してしまった場合は、証拠隠滅とみなされ、高額賠償、懲罰的な措置。	アーカイブデータのため、通常業務に影響を与えず、初動で迅速な訴訟ホールドが可能。訴訟ホールドはディスカバリの初動の重要ポイント。
データの収集	データ保管場所の確認、長時間のデータコピー、データ収集担当者が機密情報を見てしまうリスク	データ収集が不要
元データとの同一性保証	データの複製は改ざんとみなされる。同一性を保証するために、データの専門家による実施が必須。外部業者がデータにアクセスする際のセキュリティ課題。	同一性が保証されている
データの絞り込み	ユーザ作成データとそれ以外の識別、コミュニケーション情報のデータ識別と重複データの排除に手間がかかる	コミュニケーション情報の絞り込みから開始できる。ジャーナルアーカイブのため、重複排除済み。高度な検索機能。
検索の精度	日本語の文字化け、ダブルバイトの検索精度が低い可能性	精度のよい検索、絞り込みが可能
検索の速度	長時間かかる	高速な検索、絞り込みが可能

ディスカバリ費用を下げるためには（レビュー、翻訳）



	手動でおこなう場合	適切なツールがある場合
日本国内で日本語のままレビューする	環境によっては文字化けの可能など、 検索精度・速度に難 がある可能性	アーカイブへ接続のための 弁護士の方のアカウント発行 。関連有り無しなどの レビュースタートスのタグ付け 。
進捗管理	長時間かかる	レビュー毎の進捗管理 が可能
レビュー品質の管理	長時間かかり、レビュー品質の維持が困難	メッセージ毎の レビュー履歴 を確認可能。複数のレビューアの ダブルチェック でレビュー品質を向上。
ECA対応 (早期評価査定)	初動が遅れる	迅速な対応
日本語のままレビュー、提出する資料が特定した段階で翻訳	データの絞り込み前、もしくは、レビュー前に、翻訳することで、 多大なコスト がかかる	提出データのみをエクスポートし、翻訳業者に渡す ことが可能

自社にとっての有利な和解でないという意味がない

ほとんどの訴訟案件は和解で終わるが、基本的には、「和解 = こちら側の非を認める」



ディスカバリ前などの安易な和解は話にならない

- ✓ 原告につけられる可能性
- ✓ 同じような訴訟が起こる、むしり取られるのが米国の訴訟社会
- ✓ パテントロールの簡単和解銘柄に認定



不利な和解は、多額の賠償金が発生する

- ✓ 「ディスカバリを終えること」は目的ではない、有利な和解が目的



自社にとっての有利な和解が、勝訴と同じ意味を持つ

- ✓ コストコントロールができると、じっくりと戦略を練り、有利な和解に持ち込むことが可能
- ✓ 初動（弁護士選定、ディスカバリベンダー選定、訴訟ホールド）が大事

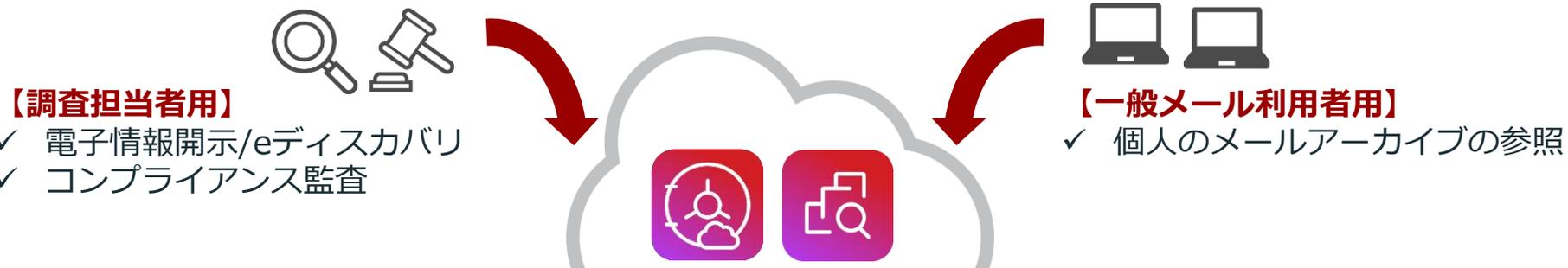
eディスカバリーソリューション選定ポイントとは？

eディスカバリーソリューションの導入目的
「時間短縮」「コスト削減」「情報漏洩リスク低減」



- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- **ベリタスの電子情報開示支援ソリューション**
- 補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）

クラウド型アーカイブ & 電子情報開示支援サービス



クラウド

- Microsoft 365
- G Suite Enterprise



- 高速で正確な検索機能
- オンラインでメール調査
- 十分な容量
- 退職者のメールも無償保管

オンプレミス

- Exchange
- Domino



コミュニケーションツールが変更・追加された場合も、コンプライアンスツールを変更する必要がなく、移行前と移行後のメールの両方を1つの管理画面から検索可能

オンプレのアーカイブソリューションとの比較

	Veritas Alta Archiving	一般的なオンプレのアーカイブソリューション
運用面	<p>SaaSサービスによるシンプルな運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ セキュリティに関する多くの認証を取得 ✓ ユーザ当たりの十分な容量、容易な容量追加 	<p>オンプレミスに構築するため、下記が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ハードウェア、ソフトウェアの準備 (サーバ、ストレージ、データベース) ✓ ハードウェア、ソフトウェアの保守、障害対応 ✓ 定期的なリプレイス、バージョンアップが不要 ✓ アーカイブデータのバックアップ、BCP対策の考慮 ✓ セキュリティ面の考慮 ✓ 容量追加、パフォーマンス追加でハードウェア増設
費用	アクティブなアカウント数 月額サブスクリプション	ソフトウェアライセンス、ハードウェア、保守費用に加えて、 構築、リプレイス、バージョンアップの費用 が必要
アーカイブソリューションのアップデート	四半期ごとに自動アップデート	手動アップデートが必要
検索速度	平均2秒以下	ハードウェア依存（拡張の難易度は優しくない）
メール以外のコミュニケーションツールへの対応	SaaSサービスで容易に開始可能 四半期ごとに自動アップデート	対応が限定的、または、対応不可

あらゆるコミュニケーションを Veritas Alta Archiving にてキャプチャ



Veritas Alta Archiving は、
120種類以上のコミュニケーションソースから
直接**キャプチャ**するための最先端のソリューション

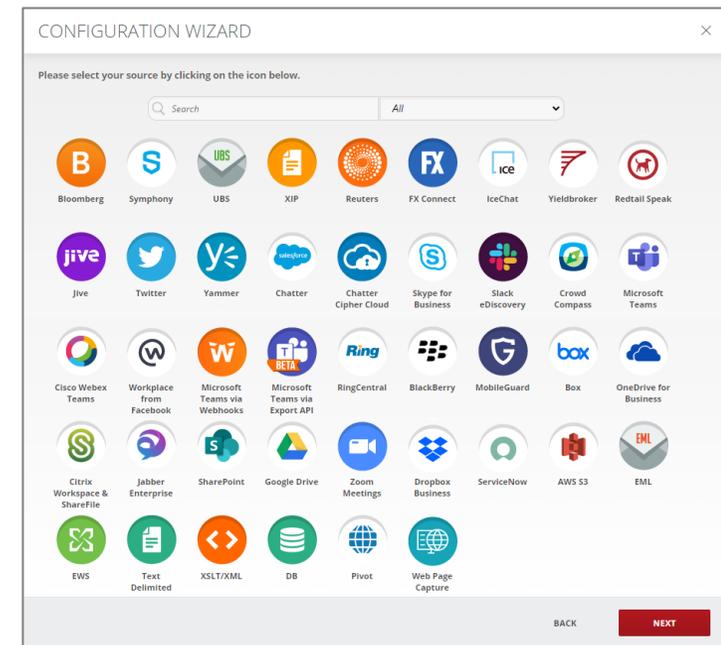
- ✓ 市場で **15年以上の実績**を持つ、
信頼できるコンプライアンスソリューション
- ✓ 120以上の異なるコンテンツソースをサポート
- ✓ **Microsoft、Slack、Zoom など、
多くのコンテンツソースから推奨・支持**
- ✓ オンプレミスやクラウドなど、既存のインフラで動作

Veritas Alta Archiving 対応アプリケーション

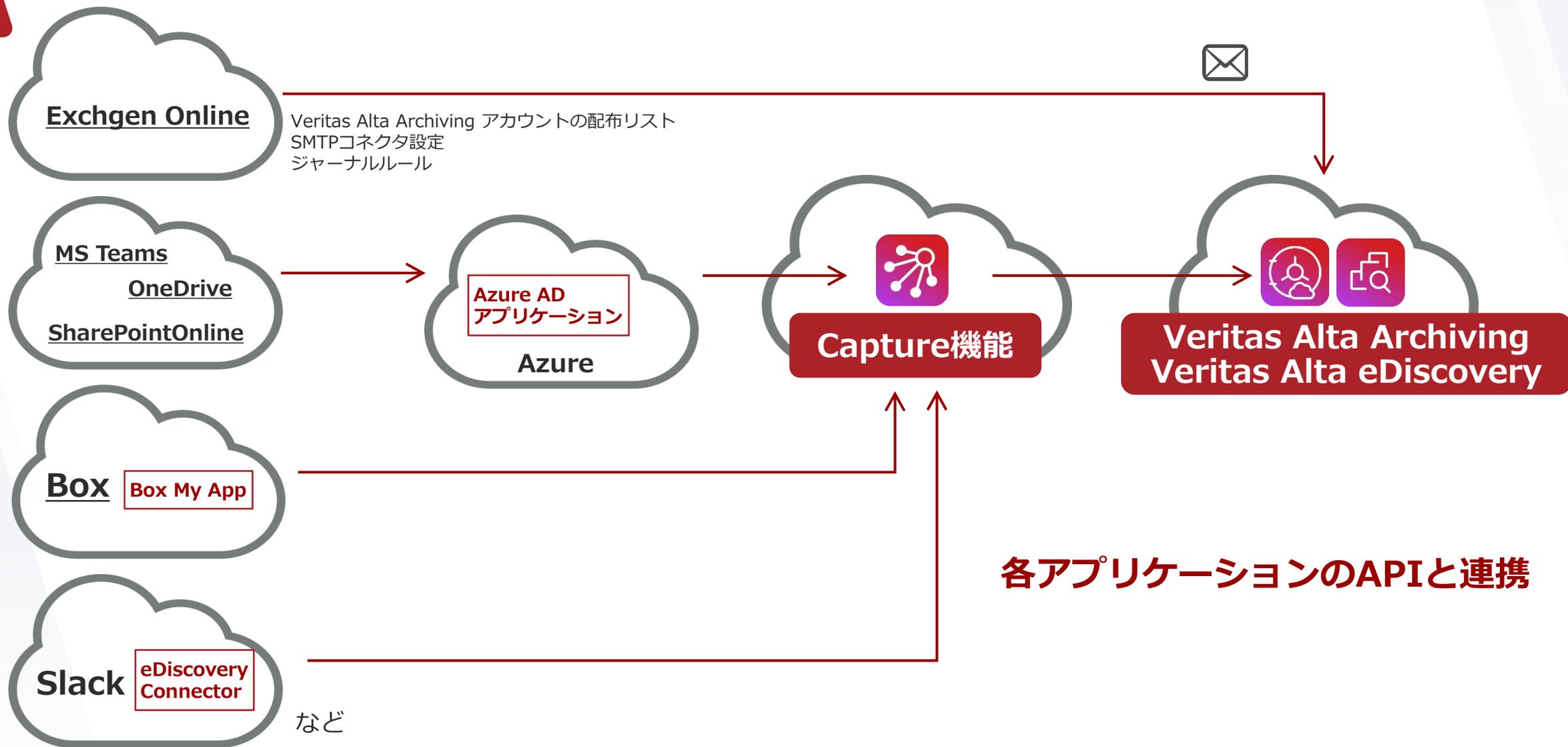
AMAZON S3
BLACKBERRY
BLOOMBERG
BOX
CELLTRUST
CHATTER
CHATTER CIPHER CLOUD
CISCO WEBEX TEAMS
CITRIX WORKSPACE & SHAREFILE
CROWD COMPASS
DROPBOX BUSINESS
EML
EXCHANGE GRAPH API
EWS
FX CONNECT
GOOGLE DRIVE
ICECHAT
MICROSOFT TEAMS MEETINGS
MICROSOFT TEAMS VIA EXPORT API
MICROSOFT TEAMS VIA WEBHOOKS

ONEDRIVE FOR BUSINESS
PIVOT
REDTAIL SPEAK
REFINITIV
RINGCENTRAL
SERVICENOW
SHAREPOINT
SLACK EDISCOVERY
SYMPHONY
TEXT-DELIMITED
TWITTER
UBS
WEB PAGE CAPTURE
WORKPLACE FROM FACEBOOK
XIP
YAMMER
YIELDBROKER
YOUTUBE
ZOOM MEETINGS
ZOOM MEETINGS VIA
ARCHIVING API
など

120種類以上の
アプリケーションに対応
約1ヶ月ごとのアップグレードで
対応アプリケーションを拡大中！！



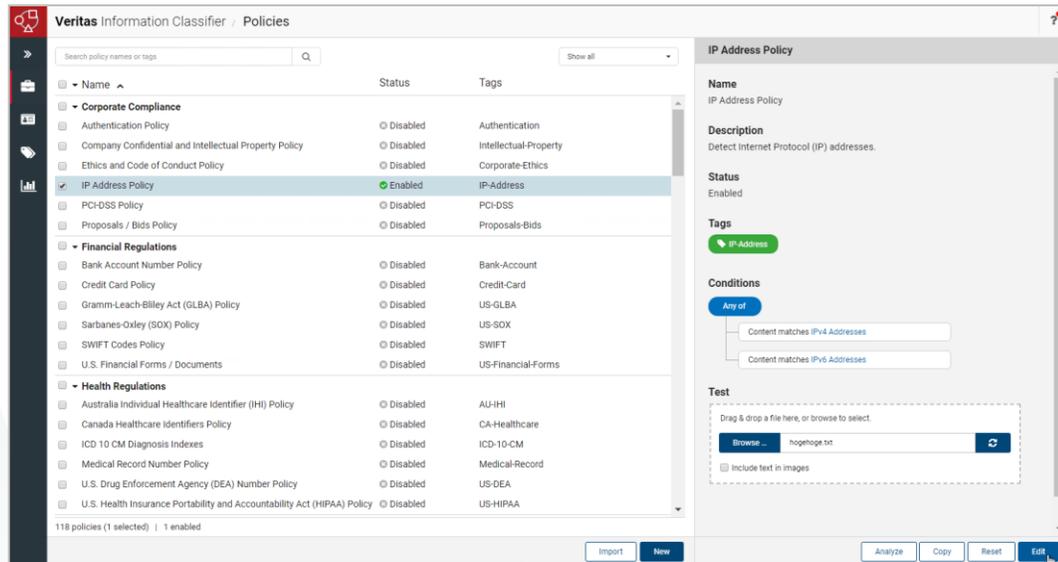
API連携にて、コミュニケーションをキャプチャ



データ分類エンジン／タグ付け機能

データの中身をスキャンし、タグ付け、可視化する技術

この分類エンジンは、日々アーカイブされるデータをコンテンツの中身に対して、ポリシーを元に分類し、ディスカバリ対応の迅速化を支援します。



- ✓ **900以上のパターン**
(生年月日、社会保障番号、クレジットカード番号、診療録など)
- ✓ **140以上のポリシー**
(GDPR, CCPA, HIPAA, Sarbanes-Oxleyなど、世界各国の規制に対応)
- ✓ **新しいパターンやポリシーを継続的に追加**
(ランサムウェア検出、COVID-19関連など)
- ✓ **パターン、ポリシーのカスタマイズも可能**

Veritas Alta Archiving 実績

多数の金融のお客様を含む、多くのお客様でご利用いただいております。

- ✓ 金融
- ✓ 工業
- ✓ スポーツ&エンターテイメント
- ✓ 医薬品
- ✓ 商業
- ✓ 教育
- ✓ ソフトウェア
- ✓ ヘルスケア
- ✓ 政府



Veritas Alta Archiving はまさにこの分野における先駆的な製品です。私たちが抱える多くの複雑な問題に対応するソリューションを簡単に構築できます。それに加えて、サポートチームも一流です

Bo He 氏
KKR & Co. Inc. 社 副社長

国内ユースケース (Veritas Alta Archiving / eDiscovery)

VERITAS

CUSTOMER SUCCESS

株式会社LIXIL

グローバルNo.1を目指すLIXILが
50,000ライセンスのEV.cloudを導入

Office 365とEV.cloudを組み合わせたメールアーカイブにより、ガバナンスおよびコンプライアンス強化をグローバル規模で実現
株式会社LIXILを中心としたLIXILグループは、世界約150の国と地域で住生活に関連する商品を展開するグローバルカンパニー。同社は2011年4月1日に、トステム株式会社、株式会社INAX、新日軽株式会社、サンワエー工業株式会社、東洋エグステリア株式会社が統合して誕生した。2013年には、北米のアメリカンスタンダード プランズとインドのスターアルビルドを子会社化し、2015年にドイツのグロウエグループを子会社化して、世界の住生活産業を牽引する企業へと成長してきた。そして、2015年に5万人規模でOffice365のクラウドメールを導入し、そのアーカイブサービスとして、会社の運用問題につながるような重要な情報の保存、管理、開示に役立つクラウドベースのメールアーカイブサービスEnterprise Vault.cloud(以下:EV.cloud)を採用した。



Link to Good Living



株式会社 LIXIL
上場執行役員 COO 兼情報システム部長 兼部長 小沼 浩之 氏
情報システム部長 Information Excellence 部長 藤原 貴典 氏

住宅ソリューション事業を提供するグローバル企業のITミッション

住生活産業における革新的な製品とサービスで、世界中の人びとの暮らしに貢献する「真のグローバル企業」を目指すLIXILグループ。同社は5社が統合した2011年からの2年間は、「経営基盤の確立」に取り組んできた。そして、2013年からは合併によるグループ全体の強化で、「顧客志向の確立」を推進して来た。現在、事業活動の最終フェーズとなる「世界に広がるグローバル企業」を目指している。その拠出地は、世界約150の国と地域に及び、グローバルで約8万人のスタッフが活躍している。そのLIXILグループで注目を集めているのが、情報システム本部になる。株式会社LIXILの上場執行役員で、CIO兼情報システム本部部長の小沼 浩之氏は、その役割や使命について、次のように切り出す。

「グローバルにおける企業経営にとって、データ分析を中心とした経営戦略は、必須だと捉えています。つまり、グローバル経営=データ経営なのです。そのためIT部門ができること、やらなければならないことは、数多くあります。例えば、グローバル企業では、海外の売上や在庫のデータを一元的に見るための集約システム構築の確立は当然の前提となっています。しかし、日本ではそのようなグローバルスタンダードを確立したITインフラの構築を実現できていないのは、まだ15年にも満たないと感じています。こうした日本と世界のITインフラの違いは、情報システム部門の意識の違いにあるのだと思っています」

小沼氏の指摘するIT部門の意識とは、どういったものか。

「これまでのIT部門というと、ITインフラを構築・運用するエンジニアの集まりだと受け取られてきた。しかし、これからはそうしたスキルの上に、経営や業務に対して的確なソリューションを提案できる知見が求められています。そのためには、グローバルスタンダードを意識し、付加価値の高いクラウドサービスを積極的に採用していくべきなのです」

会社概要
株式会社LIXIL
http://www.lixil.co.jp/

- 従業員数：連結従業員数 52,427人 (2015年3月31日)
- 業 種：建設土木業
- 事業領域：建材・設備機器の製造販売
およびその関連サービス業

導入概要
Enterprise Vault.cloud

詳細
グローバル展開を支えるために、ITインフラをグローバルスタンダードにする。また、グローバル展開のメールのアーカイブにより、コンプライアンスにも貢献する。

ソリューション
Office 365を5万ライセンス導入し、そのアーカイブのために、Enterprise Vault.cloudを採用した。

導入効果

- E-ディスカバリー法に対応できる柔軟なアーカイブの構築を実現
- グローバルでの展開を見据えたときに、十分に対応できると評価

最終的には、EV.cloudとOffice 365のオプションとして提供されているアーカイブ機能を比較しました。そのときに重視したのは、コストパフォーマンスはもちろんですが、**グローバル対応とE-ディスカバリー法を順守できる検索性能**でした。グローバルスタンダードを見据えていくと、裁判所などから要請があったときに、決められた時間以内にメールを検索してエビデンスを提出できるかどうかは、重要なポイントでした

訴訟・仲裁で出された判決・裁定により法的に情報開示が求められる場合、対象となるメールデータを効率よく検索・抽出し、迅速に電子証拠としてまとめる必要があります。係る作業を人手のみで対応しようとすれば、目視による調査に長期間かかり、コストがかかるのと同時にリスクになり得ます。また、弁護士事務所などにその作業を依頼すれば、さらに膨大な費用が発生します。過去に送受信した大量のメールから、迅速かつ正確に必要な情報が抽出可能なシステムを導入することにより、**訴訟・仲裁リスクへの適時対応や調査コストの削減**が可能であり、総合的に見ても費用対効果が高いと判断しました

VERITAS

CUSTOMER SUCCESS

丸紅株式会社

e-ディスカバリー制度への迅速な対応とコスト低減のためにEV.cloudを採用

Office 365のメールを長期アーカイブ、コンプライアンス強化に貢献

「正・新・和」の精神を社是に掲げ、公正明かな企業活動による経済や社会の発展、さらには地球環境の保全に貢献する丸紅株式会社。同社は「何にせよ正業を貫け」という企業風土のもと、Global Challenge 2018という中長期経営計画を推進している。その計画では、2020年に向けて丸紅グループが強い「和」を結果させた強靱なグループへと成長するビジョンを掲げている。「和」の活動として、メールは不可欠なコミュニケーション基盤。同社はOffice 365(Exchange Online)の前身であるBPOSから導入検討を開始し、そのリリースとともにクラウドメールの利用を開始している。そのメールシステムにEnterprise Vault.cloud (EV.cloud)によるアーカイブ機能を追加し、コンプライアンスの強化を推進している。



丸紅株式会社

丸紅株式会社は、2012年9月から国内で全社的にOffice 365のメールを利用するようになった。当時の状況について、導入に携わってきた丸紅ITソリューションズ株式会社ITプロジェクトマネージャー 第一黨の山下真志氏は、次のように話す。

「2012年に導入したOffice 365のExchange Onlineは、アーカイブ機能を含んだライセンスを契約していましたが、当時はメールアーカイブは慎重に検討すべきとして即時導入を見送った見解がありました。」

メールのアーカイブをOffice 365の採用と同時に行わなかった背景について、丸紅株式会社の情報企画部 総務企画課の渡邊孝志氏が語る。

「部署によっては、業務に直結する高度な機密情報を含むメールで、社内外の関係者に共有している場合があります。2012年当時の丸紅は、機密情報を含むメールを長期保存することが当社にとってリスクになり得るのでは、との意見も多くあり、アーカイブに対しては慎重に検討を進めてまいりました。その一方で、米国のE-ディスカバリー制度に代表されるように、昨々、メールデータの保存や開示を適切に適切に行わなかった場合、訴訟・仲裁において不利な判決・裁定を受けるケースが増え、当該リスクに対応するためには、一定期間経過後も削除不能な状態でメールをアーカイブすることが必要である、との意見もありました。」

Office 365のメールをアーカイブするかどうかは、機会のあるたびに同社内の関連する部門で意見が交わされたが、2014年までの段階では導入に至らなかった。その方向性を変えたのは、仮に訴訟・仲裁が発生した場合想定し、訴訟・仲裁リスクへの適時対応やメールの調査にかかるコスト、開示を試算した結果だった。

「訴訟・仲裁で出された判決・裁定により法的に情報開示が求められる場合、対象となるメールデータを効率よく検索・抽出し、迅速にまとめる必要があります。係る作業を人手のみで対応しようとすれば、目視による調査に長期間かかり、コストがかかるのと同時にリスクになり得ます。また、弁護士事務所などにその作業を依頼すれば、さらに膨大な費用が発生します。過去に送受信した大量のメールから、迅速かつ正確に必要な情報が抽出可能なシステムを導入することにより、訴訟・仲裁リスクへの適時対応や調査コストの削減が可能であり、総合的に見て費用対効果が高いと判断しました」と渡邊氏は説明する。

訴訟・仲裁リスクへの適時対応に加えて、発生するコストの負担が試算されたことにより、2015年上半期による審議決定が行われ、メールアーカイブを推進する方針が決定された。

丸紅株式会社 (導入効果)

- E-ディスカバリー制度への迅速な対応を可能にする、多量案件での柔軟な検索を実現
- アーカイブの導入により、「何にせよ正業を貫け」という企業風土を支援
- 本社以外のグローバル企業や海外へもEnterprise Vault.cloudの採用を促す

アーカイブされたメールの検索機能を評価してEV.cloudを採用

メールのアーカイブを導入するという決定が下された後、丸紅ITソリューションズではOffice 365のExchange Onlineに含まれていたアーカイブのライセンスをそのまま利用するか、サードパーティのサービスを活用するかを検討した。

<https://www.veritas.com/ja/jp/customer-success/lixil-group>
<https://www.veritas.com/ja/jp/customer-success/marubeni-corporation>

Veritas Alta Archiving / eDiscovery と 他社ソリューションとの機能比較

項目	Veritas Alta Archiving / eDiscovery	他社ソリューション
調査対象	○ ジャーナルメール（受信および送信電子メールの全記録）	▲ 各個人のメールボックス、共有メールボックス
メール以外の対応	○ Veritas Alta Capture機能との併用により、 120種類以上のコミュニケーションツールに対応	× メールのみ
検索速度・精度	○ 高速&高い精度の検索	▲ 微妙な検索速度・精度であることが多い
検索結果の表示	○ 重複なし（ジャーナルメールは常に1つの原本） 検索された全メールの中身を確認できる	▲ 別メールボックスの同じメールが表示 プレビューは一部のみ、全文を見るには エクスポートが必要
電子情報開示	○ EDRMに準拠 (1) 電子情報開示プロセスに沿ったオンライン利用 (2) 複数のレビューワーが調査対象のメールを審査 (3) タグ付け、マーク、レビューステータス、コメント (4) 選定したメールを絞り込んで提出	▲ 検索機能のみでエクスポートが必須 （このレベルのサービスが大半） 検索による絞り込みと審査結果はタグ付けのみ
個人情報のタグ付け	○ Veritas Alta Classification 分類エンジン クレジットカードやパスポート番号などの個人識別情報を認識するパ ターンが710以上、規制対応のポリシーを110以上搭載	× なし
保持期間	○ アーカイブ保持期間を指定可、無期限も可(費用追加無し)	○ アーカイブ保持期間を指定可 ジャーナル保持サービスがあっても別途有償
訴訟ホールド	○ ケース登録時に指定	○ ケース登録時に指定
データ提出	○ エクスポート機能	○ エクスポート機能
退職者のメールの扱い	○ 退職者の過去メールはライセンス対象外 継続してデータは保持される	▲ 調査対象者として選択するためには、 メールボックスを有効に変更する
過去メールのインポート	○ PST, NSF, EML, MSG形式の取込み	○ 主に PST形式のメールインポート
監査・調査する利用者	○ クラウドとは完全分離したレビュー専用アカウントが用意可	▲ 当クラウドサービスの利用者であること

Veritas Alta Archiving / eDiscoveryによる高速なデータ検索

✉ メール件数	🗄️ 総容量	Veritas Alta Archiving Veritas Alta eDiscovery	他社ソリューション
約1,000通	150MB	1~2秒 約5倍	4~10秒
約11,000通	約1.1GB	2~3秒 約20倍	45~50秒

※検証に基づくものであり、保証はいたしかねます。

Veritas Alta Archiving / eDiscoveryでは検索用のインデックスを作成することで、高速な検索が可能。短期間で目的のデータにたどり着くことができるため、情報開示の期日を順守しながら、不要な情報まで開示してしまうリスクを削減できます。

Veritas Alta Archiving / eDiscoveryは ユーザ、IT、法務、経営部門の各部門にメリット

ユーザ部門

**十分な容量*、期間無制限の
メールボックスを実現**



今まではメールボックス容量に制限があり、大事なメールも定期的に削除していました。

* 標準のサブスクリプション費用では、1テナントあたり「15GB x 契約ユーザ数」容量のアーカイブデータを保持できます。この容量を超過する場合は、容量追加のサブスクリプションの購入が必要です。1ユーザ平均15GBです。15GBを超えるユーザがいても、全体の容量が「15GB x 契約ユーザ数」を超えない限りは追加費用は発生しません。

IT部門

**クラウドサービスのため基盤の管理不要、
有事の際もデータ収集不要**

これまでは、
アーカイブ基盤の
バージョンアップ、
リプレースが悩みでした。



有事の際もデータの
移動・収集が不要なので、
改ざんを疑われる
リスクがなくなりました。

法務部門

**高速な訴訟／コンプライアンス調査
タスク分担／進捗共有が容易**



タスク分担、ラベル付などGUIで簡単に。
エンターを押してランチに行こうとしたら、
もう検索が終わっていたんです。

経営部門

**調査コスト削減
企業価値低下／信用失墜のリスク削減**



eディスカバリは数億円の費用がかかることも。
Enterprise Vault.cloudで、グローバル化のリスクに
先手を打つことができました。

Microsoft 365 のコンプライアンスを強化

Veritas Alta Archiving / eDiscovery は、
Microsoft 365 のコンプライアンスを強化します。

性能向上

インデックス作成の改善
高速な検索パフォーマンス
エクスポートのパフォーマンス向上

120種類以上のコンテンツソースに対応

チャット、ソーシャルメディア、音声、ビデオなど

アーカイブデータの確実な保持

Veritas Alta Archivingでは、ジャーナルデータをアーカイブし、
エンドユーザがデータを削除することはできません。
Microsoft 365ではデータが削除できてしまい、それを防ぐには、
全てのデータを訴訟ホールドする必要があり、これは、
記録管理のベストプラクティスに反し、法務チームの要望に反します。



Microsoft 365 だけではメッセージの
検索が難しく、必要なものがすべて保存
されているとは言い切れませんでした。だ
からこそ、このソリューションを選択しまし
た。今では、検索機能のおかげで、誰が
誰に何を言ったのかが明らかになりました。



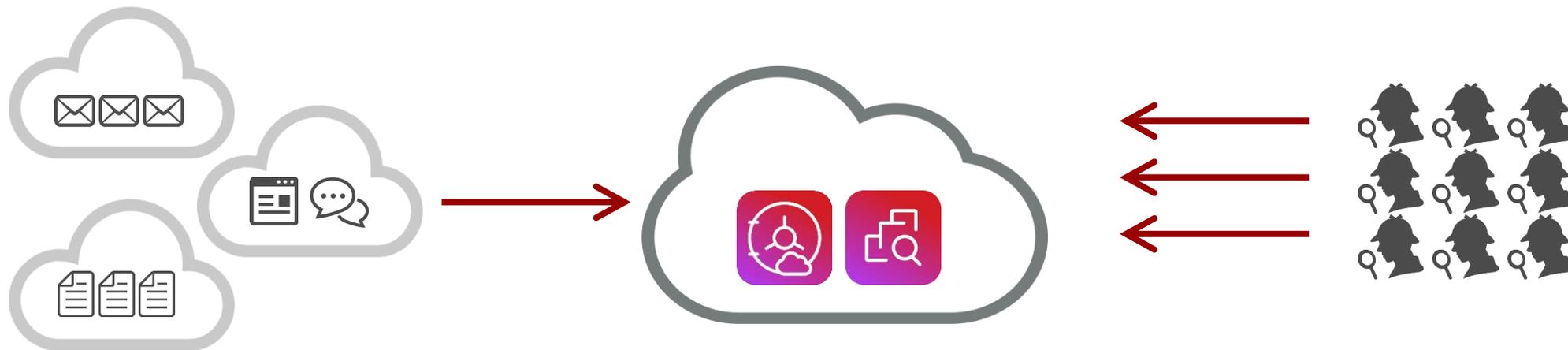
Geoff Pangonis 氏
メッセージング管理者 VHB 社

【まとめ】 Veritas Alta Archiving / eDiscovery による コンプライアンス対応

データ取込みの自動化

統合アーカイブ基盤

電子情報開示の仕組み



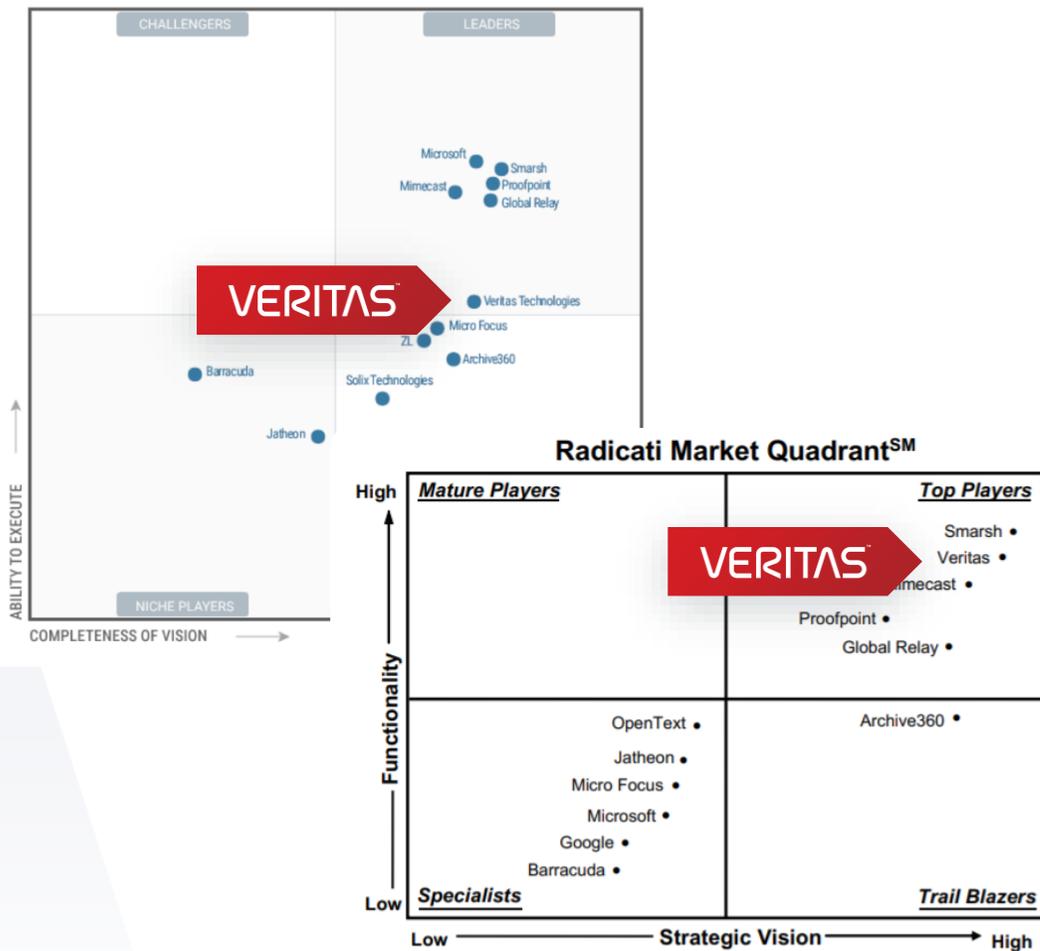
あらゆる種類の
電子コミュニケーションに対応

Veritas Alta Archiving
Veritas Alta eDiscovery

eディスカバリの時間短縮、
コスト削減、リスク低減

DX時代の多様化する電子コミュニケーションへのコンプライアンス対応のため
Veritas Alta Archiving / eDiscovery をご検討ください！

ベリタスが選ばれる理由： データ・コンプライアンスのリーダー



15回 Gartner®
Magic Quadrant™
リーダー

エンタープライズ
情報アーカイブ部門



1998年からの
アーカイブ業界の
市場リーダー

Gartner Group,
Enterprise Infrastructure
Market share, April 2022



金融業界の
トップ100社中73社が
ベリタスを選択



あらゆる
コミュニケーション
ソースに対応

メールを含め、
M365をはじめとする
120種類のコミュニケーション



コンテンツ自動分類
AI/機械学習

自動化、運用のシンプル化、
ノイズを削減し、
情報ガバナンスの加速



柔軟なデプロイメントの
選択肢がある
唯一のソリューション

オンプレ、IaaS、ハイブリッド、
仮想環境、SaaS

- 法規制対応／電子情報開示の準備の重要性
- 米国民事訴訟における eディスカバリの位置づけ
- eディスカバリ・ソリューション 選定ポイント
- ベリタスの電子情報開示支援ソリューション
- **補足資料（ライセンス、画面キャプチャ）**

ライセンス体系

2024年1月にライセンス体系が変更されました。変更点は下記です。

- ✓ PAとDAを個別購入できなくなりました。
- ✓ Classificationが標準機能に含まれるようになりました。
- ✓ Captureが標準機能に含まれ、アプリケーション個別での購入が不要になりました。

製品	製品エクステンション	課金対象	① Personal (PA)	② eDiscovery (DA)	③ Classification	④ Capture	⑤ Surveillance	⑥ WORM
VERITAS ALTA EDISCOVERY	COMPLETE SUITE	ユーザ数	○	○	○	○		
VERITAS ALTA EDISCOVERY	COMPLETE SUITE 7 YEAR RETENTION	ユーザ数	○	○	○	○		○
VERITAS ALTA EDISCOVERY	COMPLETE SUITE 10 YEAR RETENTION	ユーザ数	○	○	○	○		○
VERITAS ALTA SURVEILLANCE	COMPLETE SUITE 7 YEAR RETENTION	ユーザ数	○	○	○	○	○	○
VERITAS ALTA SURVEILLANCE	COMPLETE SUITE 10 YEAR RETENTION	ユーザ数	○	○	○	○	○	○

各機能の内容

機能	内容
① Personal (PA)	一般メール利用者用、個人のメールアーカイブの参照
② eDiscovery (DA)	eディスカバリ、調査担当者用、アーカイブの横ぐし検索
③ Classification	分類エンジン、データの中身をスキャンしタグ付け・可視化
④ Capture	ソーシャルメディア、インスタントメッセージ、ファイル共有などをキャプチャ
⑤ Surveillance	コミュニケーションの監視
⑥ WORM	アーカイブデータのWORM保管

上記のサブスクリプションでは、
1テナントあたり「15GB x 契約ユーザ数」容量のアーカイブデータを保持できます。
この容量を超過する場合は、容量追加のサブスクリプションの購入が必要です。
1ユーザ平均15GBです。
15GBを超えるユーザがいても、全体の容量が「15GB x 契約ユーザ数」を
超えない限りは追加費用は発生しません。
**全体の容量が「15GB x 契約ユーザ数」を超える場合は、
上記のサブスクリプションに加えて、TB単位の容量追加サブスクリプション契約が必要です。**

Veritas Alta Archiving eディスカバリ 画面サンプル

各メールに、レビューステータスを付与
Not reviewed: 未レビュー
Escalate: 要確認
Inrelevant: 関連なし
Privileged: 秘匿特権情報
Redact: 要墨入れ
Relevant: 関連あり

The screenshot displays the Veritas Alta eDiscovery interface. On the left, a sidebar contains navigation options like 'Investigations', 'Dashboard', 'Reviews', and 'Review Status'. The main area shows a search results table with columns for 'From', 'To', 'Subject', and 'Date'. A 'Review Status' dropdown menu is highlighted with a red box, listing options: 'Not reviewed', 'Escalate', 'Irrelevant', 'Not Applicable', 'Privileged', 'Redact', 'Relevant', and 'Responsive2'. Below the table, an 'Export Options' dialog is open, showing 'Message Format' options like 'EML with EDRM', 'PST with EDRM', 'MSG with EDRM', and 'FTI-RingTail'. A 'Review Status' filter is also visible at the bottom, with 'Relevant' selected.

下記などで検索が可能です。
メッセージ内容、件名、From、To、
添付ファイルの有無、添付ファイルのタイプ、
添付ファイルの名前、送信日

レビューステータス等を指定して、
エクスポート可能です。

Capture機能で キャプチャできるアクティビティ (例 1/2)

MS Teams

- Chat Messages
- Private Channel Messages
- Public Channel Messages

キャプチャされるメッセージには下記を含みます。

- Chat/Channel info
- Mentions
- Attachments
- Third-party integration apps and bots
- Emojis
- Reactions

SharePoint Online

- Newsfeed/Document library/ Picture library posts
- Newsfeed /Document library/ Picture library comments
- Custom lists
- Custom lists comments
- Site page comments

OneDrive for Business

- Uploaded files
- Renamed files
- Move to events with the file
- Delete event without the file1
- New created documents via browser with the file

Capture機能で キャプチャできるアクティビティ (例 2/2)

Box

- Posts
- Files
- Comments
- Shares
- Deletes (Requires triggers)
- Edits (Requires triggers)
- Links
- Polls
- Private chats
- Group chats
- Feed poll choices (If Modify all data permission is enabled)
- New event/task contact/opportunity/case/lead
- All online communications, including attachments and deleted information (if the triggers are set)

SLACK eDISCOVERY

- Activities from all workspaces
- Direct messages
- Multi participant direct messages
- Channel conversations/messages
- Attachments (the attachment itself is included in the message generated by Veritas Alta Capture as an attachment)
- Attachments shared using third-party integrations such as OneDrive (only the link is included in the body of the message generated by Veritas Alta Capture)
- Emojis (as text)
- Deletes (including the deleted message and the event itself)
- Edits (including the message before and after it is edited)
- Guest conversations
- Message reactions (Note: Reactions for deleted messages aren't captured.)
- Shared channel events (channels shared with external organizations1)
- Channel join event
- Set channel purpose event
- Files delete event

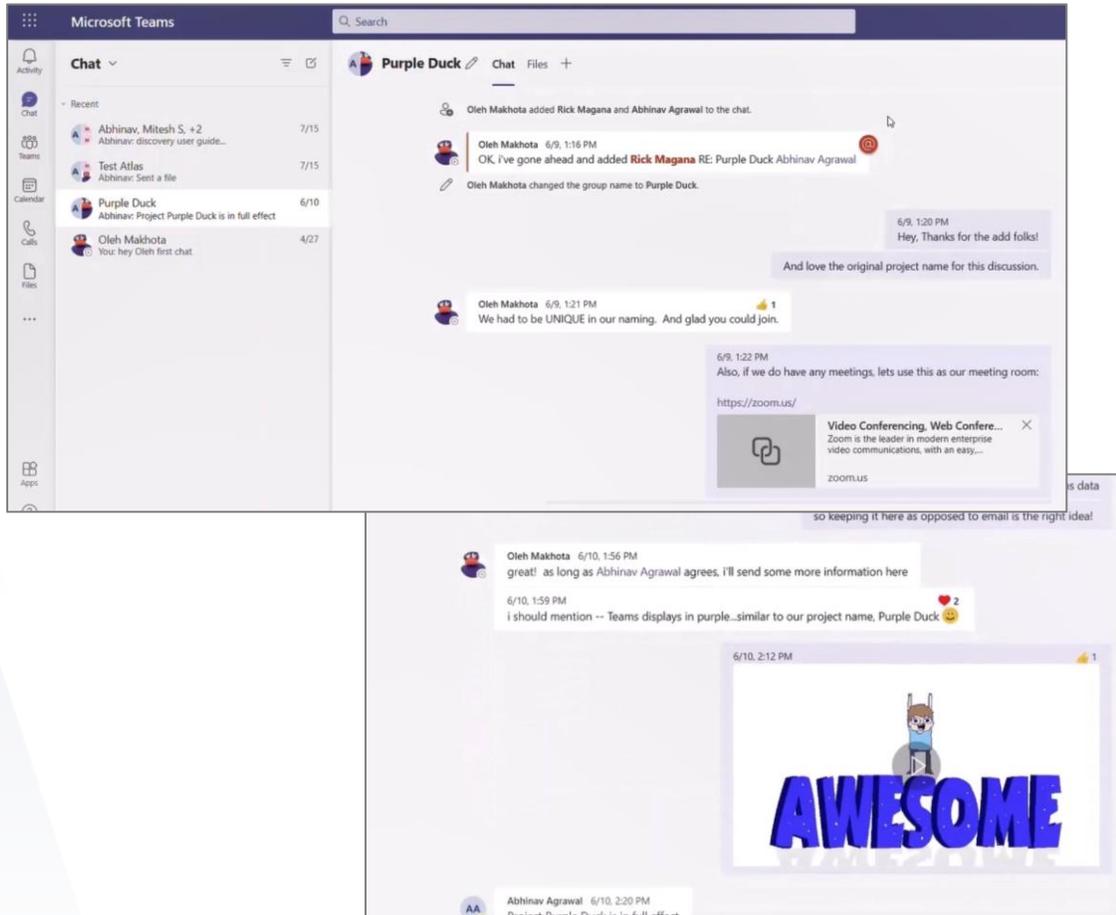
レビュー画面 (Microsoft Teams)

Collaborationタブを選択することで、チャット全体のネイティブ表示が可能です。

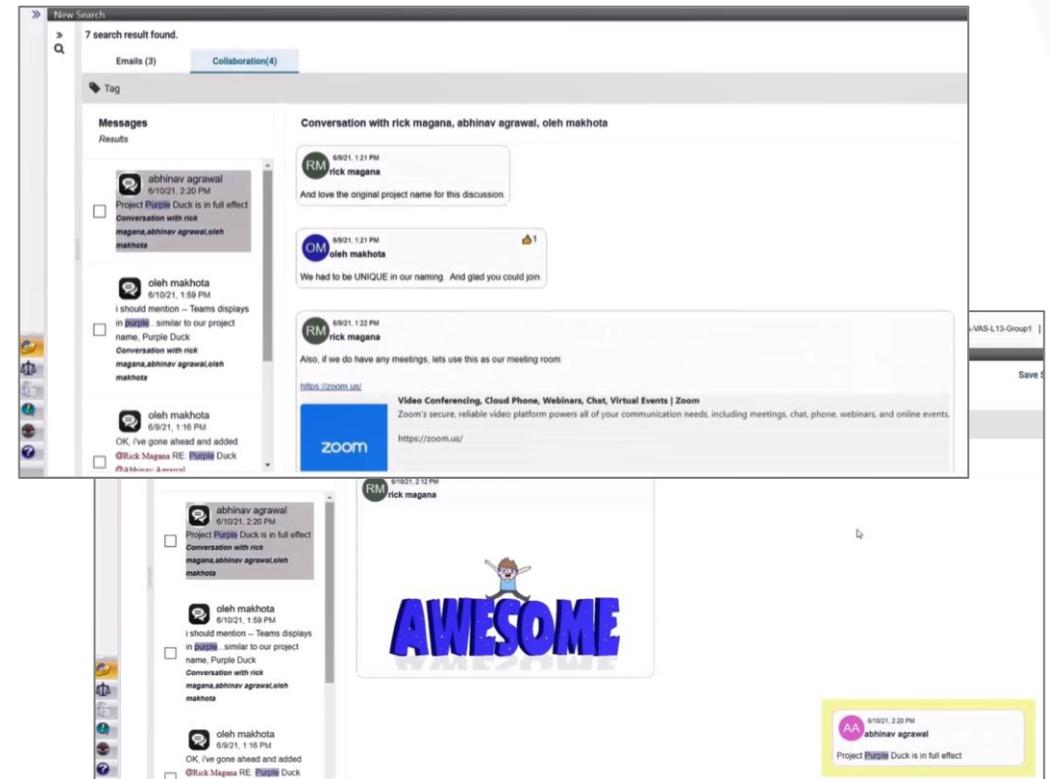
The screenshot shows the Microsoft Teams search interface. On the left is a navigation pane with options like Home, Investigations, My Mailbox, Managed Accounts, Microsoft Teams, Tags & holds, Back Processes, e-Discovery, Administration, Matters, and Legal. The main area is titled 'New Date Search' and shows '53 search result found'. A red box highlights the 'Collaboration(3)' tab, with a red arrow pointing to the text 'Collaborationタブを選択'. Below this, a list of search results is shown, including PDFs and messages. A red dashed box highlights a message containing a URL, with the text 'URLプレビュー' next to it. Another red dashed box highlights a reaction icon (a thumbs-down) on a message, with the text 'リアクション表示' next to it. A third red dashed box highlights a classification tag on a message, with the text 'Classificationタグ' next to it. A fourth red dashed box highlights a file attachment icon, with the text '添付ファイル表示' next to it.

レビュー画面 (Microsoft Teams)

【Microsoft Teamsの画面】



【Veritas Alta eDiscoveryの画面】



MS Teamsの画面と同様に、スレッドでチャット内容を確認可能

レビュー画面 (OneDrive)

ファイルアプリケーションに応じた、メタデータを表示でき、検索に使用できます。

New Search

79 search results found. Save Search

Emails (12) Collaboration (4) **Files (63)**

Filesタブを選択

Tag	Name	Modified	Modified By	File Size	Tags
	Discovery cloud...	June 2, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	3.27 MB	
	SC Usage May 20...	July 13, 2021	rick magana User1	17.64 MB	
	Merge1 User Gui...	July 15, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	21.6 MB	
	Discovery cloud...	July 15, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	3.27 MB	
	zip_2MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	1.94 MB	
	zip_5MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	5.2 MB	
	zip_9MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	9.22 MB	
	zip_10MB.zip	August 10, 2021	abhinav agrawal User4-L13-group1	10.18 MB	

File Info:

Name: InsertDiagram2.doc
Modified By: abhinav agrawal User4-L13-group1
Modified Date: 8/10/21, 12:33 PM
Location: https://qaloadoffice365-my.sharepoint.com/personal/abhinav_agrawal_evoc365_com/_layouts/15/Doc.aspx?sourcedoc=%7BCE3F345C-0F57-4E4B-B3CF-581921E85A3F%7D&file=InsertDiagram2.doc&action=default&mobileredirect=true

InsertDiagram2.doc: this document tests cycle diagrams.

The diagram below features 3 cyclical arrows. 'Work, Play and sleep' are what they cycle between. I'll be changing some options on other diagrams later but the arrows are clockwise and one is centered near 12 o'clock.

Play
Sleep
Work

I inserted 2 arrows into the diagram below.

Play
Sleep
Work
Get on bus
Watch TV you don't like anyway

Lime green 3 point diagram border line, purple fill, red/yellow/orange arrows.

ファイルのメタデータ表示

ファイルプレビュー

A nighttime cityscape with a network overlay of blue lines and dots. The city lights are visible in the background, and the network lines are overlaid on the scene. The sky is a mix of blue and purple, suggesting dusk or dawn. The network lines are composed of small white dots connected by thin blue lines, creating a complex web pattern across the city.

VERITAS™

ありがとうございました

Copyright © 2024 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.